

## 海外情報

No.13

調査者	宇野 勲
情報ソースの刊行日	2020年4月1日
情報ソースの調査日	2020年5月4日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月6日
日本語タイトル	家庭と地域に根ざした理学療法士による集中治療後症候群の成人の管理
情報ソース	Physical Therapy
情報のカテゴリー	展望論文
発信地域	アメリカ
DOI	10.1093/ptj/pzaa059
URL	<a href="https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/32280993">https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/32280993</a>
要約	<p>ICU に入室する COVID-19 重症例では、post-intensive care syndrome(PICS)が生じることが予想される。</p> <p>そのため、在宅や地域で活動する理学療法士も PICS を理解し、適切なリハビリテーションサービスが提供できる体制を整える必要がある。</p> <p>PICS の影響</p> <p>身体機能面</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・呼吸機能低下</li><li>・筋力低下</li><li>・運動耐容能低下</li><li>・ADL、IADL 能力低下</li><li>・自動車運転、仕事復帰遅延</li></ul> <p>認知機能面</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・集中力低下</li><li>・記憶障害</li><li>・作業遂行力低下</li><li>・処理能力低下</li></ul> <p>精神心理面</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・抑うつ</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・不安</li><li>・PTSD</li><li>・睡眠障害</li></ul> <p>家族への影響</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・抑うつ</li><li>・不安</li><li>・PTSD</li></ul>
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	今後 COVID-19 重症例が回復して退院していく中で、適切なリハビリテーションサービスが提供できるように、急性期以降の理学療法士も PICS について理解しておく必要がある。